

標題 : 自治労組織内参議院議員(比例代表)の活動報告記事(23.6.5)について
発信番号 : 自治労情報2023第0103号
発信日付 : 2023年6月5日
宛先(団体) :
宛先 : 各県本部委員長様
送信者(団体): 全日本自治団体労働組合
送信者 : 中央執行委員長 川本 淳

連日のご健闘に敬意を表します。

参議院比例代表選挙選出の自治労組織内議員である「鬼木まこと」「岸まきこ」各参議院議員の活動報告をお送りいたします。

つきましては、県本部・単組等の、機関紙・ニュース等でご活用いただきますようお願いいたします。

1. 記事掲載URL(記事Wordファイルおよび写真データを掲載)

<https://remote2.cybozu.co.jp/cgi-bin/cbgrn/grn.cgi/cabinet/index?hid=7726>

2. 記事内容

◆鬼木まこと参議院議員「初の3日間連続の委員会質疑を経験」

5月末となり、6月21日までの国会会期も残りわずかとなりました。

参議院では、衆議院から送付された法案の審議のため、連日のように各委員会が開催されています。私も委員会での質疑が続く、国会議員となって初めて3日間連続での委員会質問を経験しました。30日の国土交通委員会は「道路整備特措法改正案」について35分間、翌31日の震災復興特別委員会では「福島復興再生特措法改正案」で45分間、最後は国土交通委員会に一般質疑で20分と合計100分間の質問をしました。

質問の準備では、法案内容や現状の課題を把握した上で、現場の皆さんからの声を参考に、政策の影響・効果などについて質問内容を練らなければなりません。この作業が一番大変です。その点、福島の復興の課題は、自治労福島県本部の組合員の皆さんのお話を踏まえ、現場の課題を大臣に対して指摘できたのではないかと思います。

また、委員会での質疑では、答弁を聞きながら内容を吟味し、再質問すべきかなどを瞬時に判断しなければなりません。そのためには経験や情報収集などが必要です。まだまだ不十分なところはありますが、現場の組合員の皆さんの声を国会で伝え、経験と実績を積み重ねていきたいと思っています。

◆岸まきこ参議院議員「マイナンバー関連法改正案で、再び質疑を行いました」

5月31日、参議院「地方創生及びデジタル社会の形成等に関する特別委員会」において、19日に引き続き、マイナンバー法等改正案の質疑を行いました。

今回は、個人情報漏洩の責任の所在、トラブル発生後の対応、マイナンバーカードの抜本的見直しなどについて、河野デジタル大臣を問い質しました。

また、マイナ保険証に他人の情報が誤登録されている事案を踏まえ、チェックが終わるまで運用の中断と、健康保険証の廃止見送りを厚生労働副大臣に強く求めました。あわせて、医療情報が間違っるといことは命に関わる問題であり、その重みを感じているのか質しました。

しかし、納得できる答弁は今回もありませんでした。「大丈夫です。安心して使っていただけるように努力します」といった答弁を繰り返すだけで国民の不安を払しょくできる段階にありません。

審議はまだまだ積み重ねるべきで、野党筆頭理事も理事会で採決見送りを強く求めましたが、最終的には質疑終局、採決が行われることになりました。私たちの生活に大きな影響を及ぼすものであり、残念でなりません。

法案は成立してしまいましたが、適正な運用がなされているか、引き続き注視していきます。